

一人一人の居場所と幸せを大切にする4つの校風の実現をめざして

岐阜市立東長良中学校長 平岩 徹

令和元年の本校3年生生徒に係るいじめ重大事態。この一人の命を決して無駄にすることなく、私たち一人一人ができること、やるべきことは何かが問われました。こうした悲劇を二度と繰り返さない、子どもたちが安心して学びに向かうことができる教育環境を作る。あわせて、命の尊厳を改めて理解し、お互いを大切にする学校をめざし、いじめ問題の克服に向けて取り組んできました。

令和2年9月、岐阜市においていじめ防止対策推進条例が公布、施行されました。そこでは学校、教職員の責務として、学校全体でいじめの未然防止及び早期発見に取り組むこと。加えて、自らを大切にするとともにお互いの違いを認め合い、自らと同様に他者を尊重し、思いやる教育に取り組むこととされています。

当該校として、私たちの生徒との向き合い方、生徒に本当に必要な力とは何かについて考えました。そのひとつが、より高い価値を求めて個々やグループで競争をしたり、連帯による責任を求めたりする集団指導から、他者の違いを温かく受け入れ、助言したり注意したりしながら一緒に成長していく指導の方向です。そうして、一人一人の居場所と幸せを大切にする4つの校風（協の心、優の心、敬の心、恕の心）に基づいた「いじめ克服HEROプロジェクト」の取組が始まりました。教科指導においても、仲間とともに課題を共有し、追究し、解決していきながら、お互いの存在を認め合い、肯定的で温かい関係を築いていく視点を大切に、「学びの共同体」の理念のもと協同的な学びを実践してきました。

本年度の研究主題は、「つながる」生徒を育てる教育活動です。研究内容を「4つの心を醸成する教育活動」と「学びの深まりを生み出す教科指導」としました。教科指導の研究に加えて、かけがえのない自分と仲間を大切に、全員が安心して生活し、一人一人に居場所のある学校づくりをしてまいりました。まだまだ、未熟で道半ばの取組です。本日参加いただいた皆様より私たちの今後の研究に向けて、ご指導、ご鞭撻をいただきますようお願いいたします。

最後に、本校は6年ぶりに研究発表会を開催できることとなりました。ここに至るまでご遺族様には私たちに寄り添い、時には教師の指導に「魂」を与え、時には方向性を示唆いただきました。実施にあたっては、岐阜県及び岐阜市教育委員会の皆様のご理解とご支援をいただきました。また本校OBの先生方には私たちの取組を温かく見守るとともに親身にご指導いただきました。この場をお借りして、関係いただいたすべての皆様にお礼を申し上げご挨拶といたします。